

新たな長期経営構想の策定に合わせて、 理念体系を進化させました

グループ経営理念

キリングroupは、
自然と人を見つめるものづくりで、
「食と健康」の新たなよるこびを広げ、
こころ豊かな社会の実現に貢献します

2027年の目指す姿

食から医にわたる領域で価値を創造し、
世界のCSV先進企業となる

“One KIRIN” Values

熱意

Passion

自由な発想で、進んで新しい価値をお客様・社会に提案することへの我々の熱い意志。会社やブランドに誇りを持ち、目標をやりきる熱い気持ち

誠意

Integrity

ステークホルダーの皆さまのおかげでキリングroupは存在しているということへの感謝の気持ち、謙虚な気持ちで確かな価値を提供し、ステークホルダーに貢献するという誠実さ

多様性

Diversity

個々の価値観や視点の違いを認め合い、尊重する気持ち。社内外を問わない建設的な議論により、「違い」が世界を変える力、より良い方法を生み出す力に変わるという信念

よるこびがつながる世界へ



※ 下線部…前理念体系からの追加、変更箇所

新理念体系の浸透に向けて

酒類事業、飲料事業と医薬・バイオケミカル事業を強化するとともに、「医と食をつなぐ事業」を育成し、社会課題の解決につながる新たな価値を創出します。キリングroupは、「世界のCSV先進企業」への進化を目指して、2019年2月、長期経営構想「KV2027」を策定しました。そして、経営の根幹としてのCSVへの想いを社内外のステークホルダーに示すために、グループの経営理念体系も新たに、お客様や社会からみたキリングroupの存在意義をシンプルに表現した新しいコーポレートスローガン「よるこびがつなぐ世界へ」を制定しました。

キリングgroupは、グローバル30,464名の社員一人ひとりにCSVの実践を促し、持続的な成長に挑戦しています。

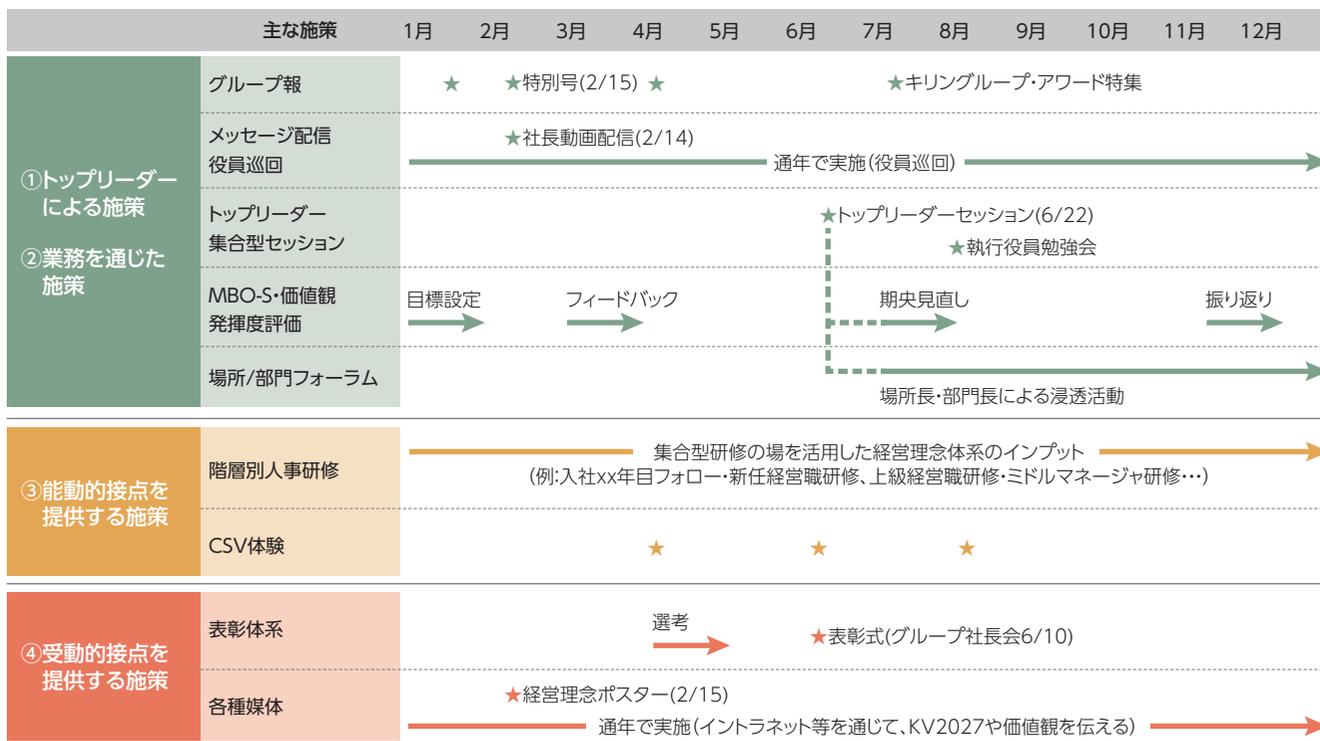
従業員に意識・行動の変化を促す4つの施策を展開

キリングgroupが「世界のCSV先進企業」へ進化するためには、CSVの担い手である従業員に理念や価値観の浸透を図り、意識と行動の変化を促すことが不可欠です。そこでキリングgroupでは、「トップリーダーによる施策」「業務を通じた施策」「能動的接点を提供する施策」「受動的接点を提供する施策」の4つのアプローチで、理念浸透の取り組みを推進。従業

員が理念・価値観の重要性を理解し、自らの業務の中で体現できるよう環境を整備するとともに、従業員の行動を評価し、次のアクションにつなげています。

また、従業員アンケートなどを通じて理念浸透の度合いを定期的に調査するなど、PDCAサイクルを回すことで、各施策の見直しも行っています。

個々の施策と年間スケジュール



グループ報(特別号)を発行するとともに、社長のメッセージ動画を配信し、従業員に理念・価値観の浸透を図っています。



能動的接点の1つとして、CSV体験プログラムを実施しています。従業員がCSV体験を“考える場”にとらえ、参加することで理解を深め、自分ゴト化する機会を提供しています。